

別記様式

随 意 契 約 結 果 書

件 名 及 び 数 量	平成１８年度宜野座改良（１工区）埋蔵文化財発掘調査業務
契約担当官等の氏名 並びに所属する部局 の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官沖縄総合事務局 北部国道事務所長 高 良 保 英 （名護市大北４丁目２８番３４号）
契 約 締 結 日	平成１８年 ４月 ３日
契約の相手方の氏名 及び住所	宜野座村長 沖縄県国頭郡宜野座村字宜野座２９６
契 約 金 額 （消費税及び地方 消費税含む）	５０，７２５，５００円
予 定 価 格 （消費税及び地方 消費税含む）	５０，７２５，５００円
随意契約によることと した理由	別紙のとおり
備 考	

- 注）１．公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。
- ２．予定価格を公表しないこととした場合、予定価格の欄には「非公表」と記載する。

随意契約理由書

1. 業 務 名：平成18年度宜野座改良（1工区）埋蔵文化財発掘調査業務

2. 履 行 場 所：宜野座村字宜野座地内

3. 契 約 の 相 手 方：名 称 宜野座村 宜野座村長 東 肇
住 所 国頭郡宜野座村字宜野座296

4. 随意契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び予決令第102条の4第3号

5. 当該業務の目的・内容及び随意契約の理由

（1）目 的 ・ 内 容

本業務は、平成12年度から宜野座改良（1工区）において行われている発掘調査の継続調査業務で、宜野座改良（1工区）未発掘箇所の発掘調査及び資料整理を行うものである。

（2）理 由

調査委託先に関しては「直轄道路事業の建設工事施行に伴う埋蔵文化財の取扱いについて（昭和46年11月1日建設省道一発第93号 道路局国道第一課長から各地方建設局道路課長、北海道開発局建設部長あて通知）」より、「発掘調査の実施は、原則として当該教育委員会に委託して行うこと。」と明記されており、本業務を遂行する上で宜野座村が最も適切な委託先であると判断される。

委託先の宜野座村は、平成12年度から宜野座改良（1工区）の発掘調査を実施しており、本業務は引き続き同地区の調査を実施するものである。

又、本業務において、これまでの発掘調査の資料整理を行い報告書としてまとめる予定としていることから宜野座村に委託することで一環した調査成果と業務の効率化を図ることが出来る唯一の者であると判断される。

以上のことから会計法第29条の3第4項及び予決令第102条の4第3号の規定に基づき随意契約を行い業務の円滑な遂行を図るものである。